



「日本の詩歌 中野重治・小野十三郎・高橋新吉・山之口獏」

学校長・田中康之

中村仁/著・中央公論新社/発行

中野重治や小野十三郎・高橋新吉はさておき、山之口獏の詩集から、芭蕉布・歯車・処女詩集・生きる先々等、59歳で亡くなった生涯貧乏詩人の言葉には、嘘が無いと感じます。この中に載っていない『生活の柄』を、高田渡さんの歌で探して味わうのも一興です。



「四股鍛錬で作る達人」

高校3学年主任・国語 大川健次

松田哲博/著・(株)BABジャパン/発行

「四股」とは相撲の脚を交互に上下させる、あの運動です。作者の松田哲博さんは、異色の経歴を持つ元力士で、国立大学物理学部を卒業しています。その著者が四股こそ達人を作る鍵だと喝破しています。合気道の達人の四股も紹介されています。



「夜と霧」

高校3年A組担任・地歴 土屋貴亮

ヴィクトール・E・フランクフル/著・(株)みすず書房/発行

作者はアウシュビッツ強制収容所から解放されるまで生き抜いた心理学者です。一言一言に「生」への重みがあります。当たり前の日常がどれだけ素晴らしいかを感じさせてくれる一冊です。「言語を超えた感動」と世界中から評価されていることにも納得です。



「ノースライト」

高校3年B組担任・国語 杉崎大幹

横山秀夫/著・(株)新潮社/発行

「あなた自身が住みたい家を建ててください」建築士の青瀬稔のもとに舞い込んできたこの依頼がすべての始まりだった。建築にかける男たちの熱い想いと密接に絡み合う一家蒸発事件の謎。読み終えた後、きっとあなたは大切な人と会いたくなる。



「暗黒館の殺人」

高校3年C組担任・理科 佐藤杏奈

綾辻行人/著・(株)講談社/発行

長い。えげつなく長い。だが面白い。ホラーとミステリーの融合なら綾辻行人。その本人が自信作と称する本作。大学生・中也是友人・玄児に招かれ暗黒館を訪れる。そこで起きる奇妙な現象に中也是徐々に平常心を保てなくなり……。たまには大長編、いかがですか？



「運転者 未来を変える過去からの使者」

高校3年D組担任・数学 亘祐太郎

喜多川泰/著・ディスカヴァー・トゥエンティワン/発行

運はいいか悪いかで表現するものではなく、「使う・貯める」で表現するもの。先に「貯める」があって、ある程度貯まったら「使う」ことができる。運は後払い。周りから運がいいと思われている人は、貯まったから使っただけのこと。いい考え方だと思いました。自らの考え方にいいものを与えてくれるかもしれません。



「数学書の読み方」

高校3年E組担任・数学 古川能久

竹山美宏/著・森北出版(株)/発行

数学の学び方はひとつではありません。わかりやすい参考書で学ぶことも、今の時代であればYouTubeでテンポの良い動画から学ぶことも自由です。そんな中、じっくり一行一行、時間をかけて、丁寧に数学書を読む自由を獲得するための技術をこの本で学ぼう。



「僕は明日、昨日のきみとデートする」

高校3年F組担任・地歴 齋藤亮

七月隆文/著・(株)宝島社/発行

主人公と同じ気持ちで読み進めていく1周目。すべてが分かった状態で愛美に感情移入してしまう2周目。私たちのすぐ隣には別の世界線が広がっていて、まるで電車のように、停車駅ですれ違っているにかもしれない。桜の美しい季節に、手に取って欲しい1冊です。



「二十歳の原点」

高校3年G組担任・国語 原田貢佑

高野悦子/著・(株)新潮社/発行

20歳6カ月で鉄道自殺を遂げた女子大生の日記は、愛と死を痛切に語る。大学闘争の混沌の中で、体制と格闘し、孤独に直面した学生たちがいた。彼らの行き場のない変革のエネルギーを、現代社会はどこへむかわせるつもりなのか。継承か風化か、これをどう扱う。



「ぼく モグラ キツネ 馬」

高校3年H組担任・英語 山中恭平

チャーリー・マッケジー/著・川村元気/訳

(株)飛鳥新社/発行

イギリスの絵本です。柔らかな文字と、温かみのある絵がステキな世界観でお気に入りの1冊です。作者が「どのページから開いてもいい」と書いているように、ふと開いたすべてのページに優しさが溢れています。同時にことば一つ一つに、はっとさせられます。

